

ヘッドジャッジによる失格裁定の手順

認定イベントでプレイヤーに失格裁定を出したヘッドジャッジは、調査報告を送る必要がある。
この文書は、その手続の詳細を記したものである。

あなたが用意すべき情報 :

- 該当プレイヤーのDCI 番号と名前(スコアキーパーに確認すること)
- イベント認定番号(スコアキーパーまたは主催者に確認すること)

(大会会場で行う) 手順について :

1. 該当プレイヤーに対し、犯した違反の種類と「なぜそれが失格に値するのか」を説明する。
2. 文書「失格裁定に関するFAQ」を印刷し、該当プレイヤーに渡すこと。また、該当プレイヤーがその内容を理解できるよう、手助けすること。
3. 証言を集めること。場合によっては、他のプレイヤーやジャッジにも頼む必要がある
 - 3.1. プレイヤーに、「証言を提出する機会がある」ことを伝えること。証言を提出することを選んだ場合は、紙とペンを提供すること。プレイヤーは落ち込んだり怒ったりしていると予想されるため、落ち着いてから書いてもらうようにすること。また、書くことを強制しないこと。もしも「後で書きたい」という申し出があった場合、書かせても全く問題ない。
4. もしプレイヤーから何か質問があった場合、その答えをこの文書の下記から探すこと。
5. WER に違反と罰則を入力すること。
6. 1週間以内に、JudgeAppsからリンクが張られているGoogleフォームを使用して、失格レポートを入力する必要があります。詳細は下記を参照してください。

証言について :

1. すべての証言には、名前とDCI ナンバー、メールアドレスを含むこと。
2. 証言はすべて書面(紙面またはE メール)であること。口頭での証言は認められない。また、記入された文字が判読可能かどうか、目を通すくらいであれば構わないが、あなたの証言を書き終えるまでには、プレイヤーの証言を読まないこと。
3. 証言は全て、提出されたありのままを入力すること。内容の編集を行ってはいけない。(翻訳については5)を参照のこと)
4. どのような証言を、いつ集めるかについて決定すること。
 - 4.1. 「失格裁定に関するFAQ」にある通り、該当プレイヤーは後から証言を送ることも可能である。
 - 4.2. もし必要だと思う場合、対戦相手や他の観客に証言を依頼すること。その際、証言を行った人物のDCI 番号とメールアドレスも同時に入手すること。
 - 4.3. 他のジャッジやスタッフの証言が必要な場合は、イベント中なら少し後から、または翌日にメールにて、証言を書いてもらうように依頼すること。
5. 可能であれば、証言は英語で書くことが望ましい。
 - 5.1. もし英語を書けない場合、自言語で書いても構わない。そうした場合、
 - 5.1.1. 証言を入力する前に、英語に翻訳すること。
 - 5.1.2. あなたも英語に翻訳することができない場合、英訳せずそのまま入力すること。後日、他の誰かがそれを英訳することになる。
6. 証言を入力する際には、別のテキストエディタ等に一度入力した上で、そこからコピー&ペーストを行うこと。こうすることで、不慮の操作ミス等で消えてしまうことを回避できる。
7. 最初に、あなた自身の証言を入力すること。あなたの意見が他の証言に影響されてしまうことを防ぐため、それが終わるまでは他の証言を読まないこと。
 - 7.1. 可読性を向上させるため、句読点や改行を適宜挿入すること。英語で入力する場合、全て大文字にすることは避けること。
 - 7.2. 証言は状況が起こった時点(n回戦目、ラウンド開始x分後、等)から始める。また、状況について、戦場や手札にあったカード全てに至るような詳しすぎる内容は必要ない。ただ「失格を出す」という結論に至った理由が明確であればよい。

- 7.3. テキスト以外のデータ(画像・写真等)がある場合は、オンライン上(汎用アップローダー等)に置いてURLを記述すること。
- 7.4. 該当プレイヤーが失格を受ける前の経験、態度、評判、以前の失格歴等、そのプレイヤーの背景について、知っている情報を記載すること。
- 7.5. あなたがどの程度自分の判断に自信を持っているかを教えること！あなたが不正だと考えること自体に問題はないが、場合によっては彼らの証言が信用に値したり、あなたが誤解していたりすることもある。

ジャッジセンターのDQ レポートについて（一週間以内に送信すること）：

1. JudgeAppsの以下のページを開く。<https://apps.magicjudges.org/investigations/>
2. Googleフォームの欄に記入する。もし、他の人の代理としてDQレポートを行う場合、最初にすべての関連情報が揃っていることを確認すること。
3. レポートを送信した後からでも、表示されるリンク先を用いてレポートを編集することができる。必要な場合、ブックマークしておくこと。
4. 写真や画像といった他の資料は、Googleフォームから送信できない。それらの資料は、プレイヤーの名前とDCIナンバーを添えて investigations@wizards.com まで、Eメールにて送信を行うこと。
5. もしあなたがGoogleフォームにアクセスできない場合、レポートは investigations@wizards.com まで、Eメールにて送信すること。Eメールでの送信テンプレートが用意されているので、それを利用し、全ての関連する情報を確実に含めること。

この後どうなるか（およそ二ヶ月間）

- 全ての失格案件は、毎月集計されて翌月の調査委員会に送られる。追加の情報が必要になった場合、ジャッジ・プレイヤー・観客は、それぞれ個別にメールで連絡を受ける。
- 規定に従って、調査委員会は次の措置のいずれかを投票によって決定する。
 - **追加措置無し**：委員会は追加の措置が必要ないと判断する。
 - **書面による警告**：該当プレイヤーは書面によって、「二度と同じ事を繰り返さないように」という警告を受ける。
 - **出場停止**：該当プレイヤーは数ヶ月から24ヶ月、場合によってはそれ以上の有期の出場停止を受ける。
- 決定は WotC に通知される。
- 翌月に WotC が決定を反映する。
 - 出場停止リスト <http://magic.wizards.com/en/content/suspended-dci-memberships> の更新。
 - 該当プレイヤーはその決定についてメールで通知を受ける。
 - プレイヤーのデータベースが更新される。（ステータスの反映）